

モビリティサービス

参加無料
事前申込制

地域課題の解決に向け、デジタルを活用した新たなモビリティサービス等に先進的に取り組む地域の情報や、社会実装に向けた共通課題等を紹介するオンライン勉強会を開催します。

勉強会

九州経済産業局主催

講演者のご紹介

令和3年度スマートモビリティチャレンジ の成果と課題

～地域でのモビリティ実証・実装の進め方～

稲垣 仁美氏

(株)野村総合研究所 主任コンサルタント

野村総合研究所 コンサルティング事業本部
主任コンサルタント。専門は、交通・移動・まちづくり（地方創生）、エネルギー領域における新規事業立案・推進、事業戦略、デジタルマーケティング等。

2019年よりスマートモビリティチャレンジの事務局業務に従事しており、全国各地のMaaS事業の推進を支援。

また、地方自治体のモビリティを起点としたDX事業の推進やラストマイルの移動課題解決を支援。

今回は、昨年度とりまとめた『令和3年度スマートモビリティチャレンジの成果と課題』をもとに、事業の成果・課題を踏まえた地域でのモビリティ実証・実装の進め方の紹介を行う。



中山間地域での 新たなモビリティサービスへのチャレンジ

～ 打率2割は凡打者か～

眞竹 龍太氏

(株)九州経済研究所 企画戦略部 部長代理

鹿児島銀行入行後、支店勤務や鹿児島県庁への出向を経て「(株)九州経済研究所」へ出向。

公共交通計画策定に加え、産業、観光、宇宙、エネルギーなど様々な分野のプロジェクトに携わり、地方創生に向けたプロジェクトの立案、推進を支援する。

近年は、鹿児島県肝付町、和泊町・知名町（沖永良部島）等で、先進的なプロジェクトにも携わり、地域交通等の課題解決に「地域とITと“ヒト”」の視点を持って取り組んでいる。

今回は、今までに取り組んできた「中山間地域での新たなモビリティサービスへのチャレンジ」について紹介を行う。



開催日時

令和4年**7月28日**（木）**14時00分**～15時30分

開催方法

オンライン配信（Microsoft Teams）

※視聴URLは、申込頂いた方にセミナー前日にお知らせします。

対象者

自治体、関係機関、モビリティサービス関連企業等
モビリティを活用した課題解決に関心のあるみなさま

定員

100名程度（事前申し込み制）

申込方法

申し込みフォームよりご登録ください。

申込フォーム <https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyu-johoseisaku/maas>

申込期限

令和4年7月26日（火）17:00まで

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます

問い合わせ先

九州経済産業局 デジタル経済室（担当：春口・原）

TEL 092-482-5552・Email kyushu-iot@meti.go.jp



申込はコチラ

主催
後援

九州経済産業局

一般社団法人九州経済連合会、一般社団法人EMoBIA